

サッカーは大人を紳士にする

令和元年 5 月 吉日

西日本OBサッカー連盟

会長 松崎隆美

つい最近、5月18日の朝日新聞にJ1浦和对湘南戦の記事が掲載されました。
得点についての審判の誤審の記事です。

リプレイを見てもボールはゴールラインを超えており得点には間違いはありません。

しかし判定はNOゴール。

これに対しての湘南の激しい抗議でゲームは約7分間の中断。

浦和のゴールキーパーは日本代表の西川氏。非は審判団にあるのですがここで、ゴール
ラインを認める自主申告を彼に求めるのは酷でしょうか。

“サッカーは少年を大人にし、大人を紳士にする”

- =デットマール. クラマー=

この様な名言通りにはいかななくても、西川氏が虚実の狭間で揺れていたであろう今回の
場面では、正直に“”ゴールイン“との勇氣ある一言が欲しかった。

彼の紳士度で浦和. 湘南ともに、応援席全体が盛り上がり観戦のファンもすっきりとした気
持ちで家路につけた事と思います。

さて、当連盟の全域和歌山大会は元号が変わり「令和元年」の開催として皆様の記憶に
強く残ることと思います。

「親睦第一 勝敗第二 生涯現役」は連盟の歴史とともに変わらぬモットーであります。

当大会のゲームの運営に当たっては関西地域事務局や主管の和歌山の方々に努力を願っ
ておりますが、ご迷惑をかける事もあろうかと思われます。

参加チームの多い事等の事情を察して頂き、ここ和歌山. 富田での交流の場として頂きたい
と思います。

この様に私たちがサッカーを楽しめるのも、皆さんの日ごろの鍛錬とともに、家族の支
えがあつてのことです。

奥さんをはじめとして、家族の方々への感謝を忘れないでほしいと思います。

最後に、今大会では怪我もなく、次回も笑顔で再会できることを願って和歌山. 全域大会の
ご挨拶といたします。